

産業廃棄物処理計画書

7年 5月 1日

広島市長

提出者

住所 東広島市西条土与丸1丁目5-55

氏名 シンクコンストラクション株式会社

代表取締役 正路 隆弘

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 082-423-5233

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	シンクコンストラクション株式会社
事業場の所在地	東広島市西条土与丸1丁目5-55
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類

②事業の規模

③従業員数

④産業廃棄物の一連の処理の工程

別紙1

(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

現状:前年度(2024 年度) 実績量
 計画:今年度(2025 年度) 計画量

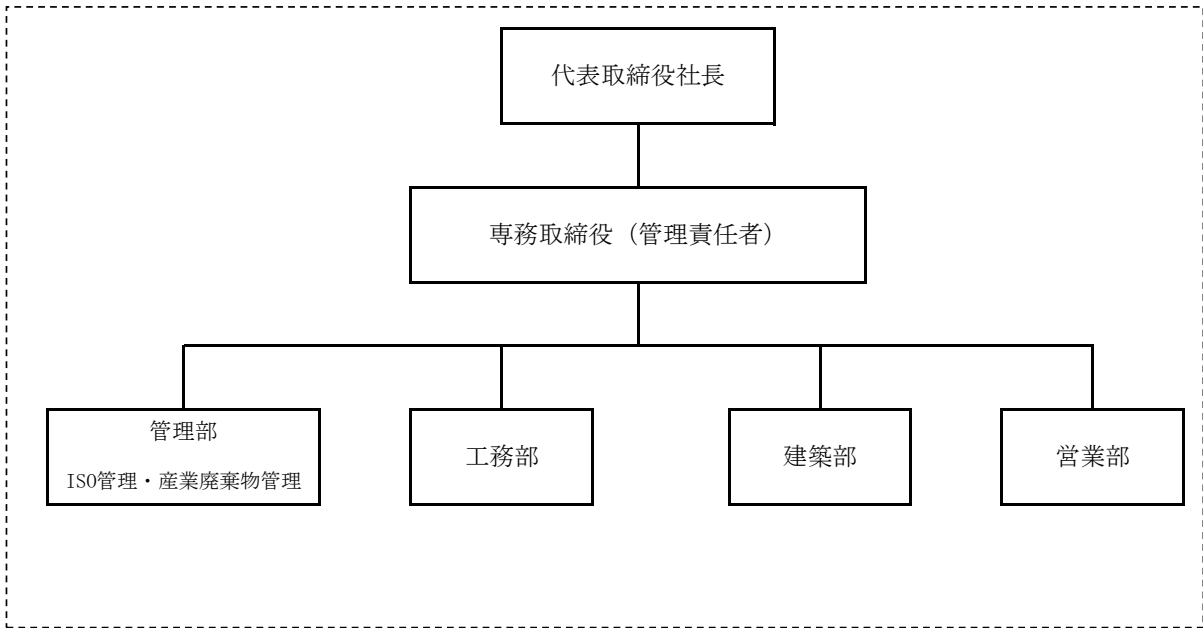
単位:トン/年

単位:トン/年

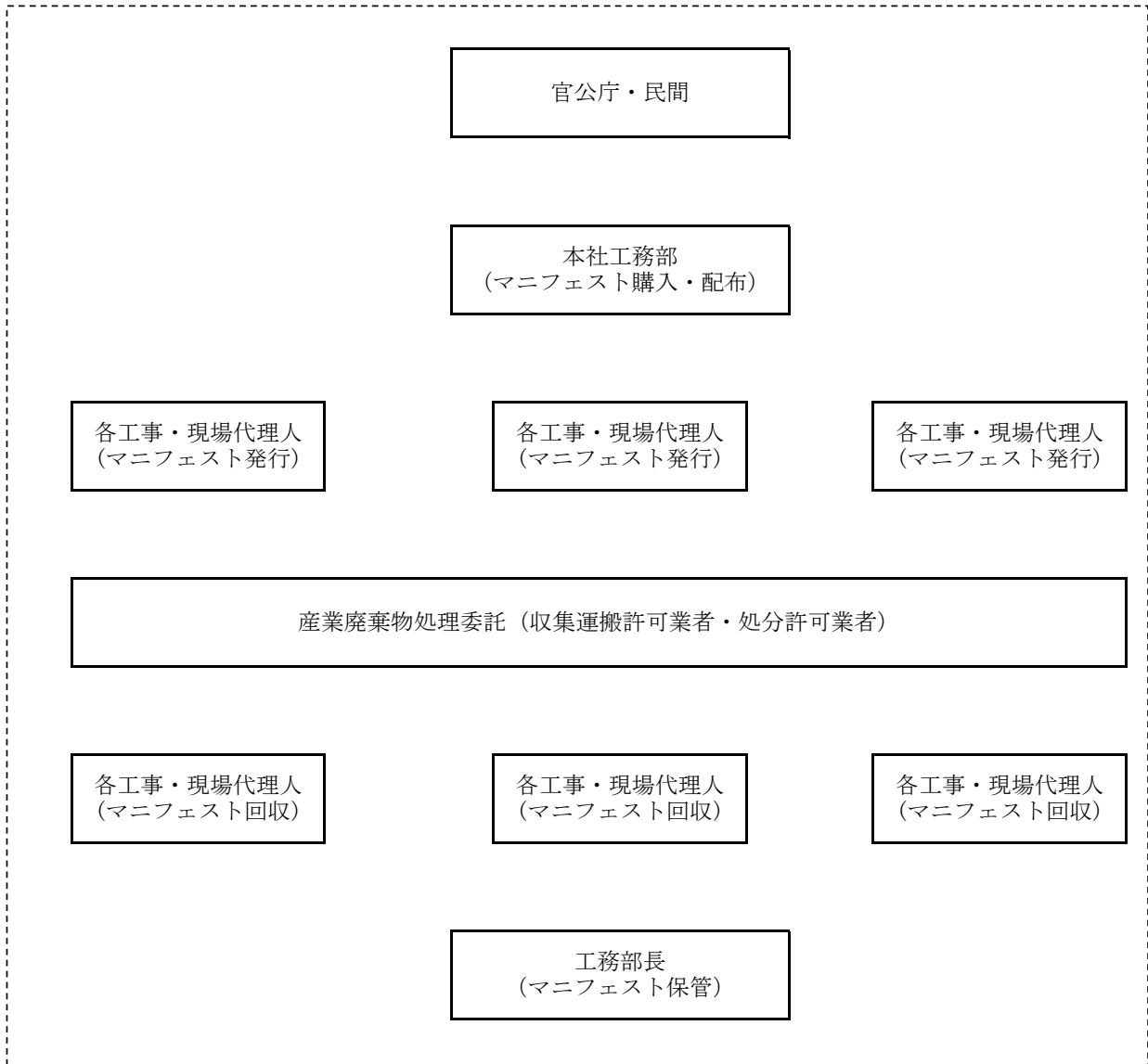
産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
	排出量		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
燃え殻																				
汚泥	2.2	5									2.2	5	2.2	5	2.2	5				
廃油																				
廃酸																				
廃アルカリ																				
廃プラスチック類	20	10									20	10	20	10	20	10				
紙くず																				
木くず	205.4	200									205.4	200	6.6	20	205.4	200				
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず																				
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず																				
鉱さい																				
がれき類	3248.8	2500									3248.8	2500	219.03	250	3248.8	2500				
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん																				
合計	3476.4	2715	0	0	0	0	0	0	0	0	3476.4	2715	247.83	285	3476.4	2715	0	0	0	0

※上記に分類できない産業廃棄物がある場合に限り、空欄へその産業廃棄物の具体的な名称を記入してください。

管理体制図



産業廃棄物の一連の処理の工程



別紙2（廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書）

1 当該事業場において行っている事業に関する事項

①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	約37億円（令和6年度実績）
③従業員数	50人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	官公庁・民間→本社工務部（マニフェスト購入・配布） →各工事・現場代理人（マニフェスト発行） →産業廃棄物処理委託（収集運搬業者・処分業者） →現場代理人（マニフェスト回収） →工務部長（マニフェスト保管）

2 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項（管理体制図等，別紙を参照）

3 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	（これまでに実施した取組） ・土木工事、建築工事により発生する産業廃棄物のため、受注量や施工規模により相違があるため、発生量を抑制が出来ず、計画出来ていない。 ・主に、東広島を中心としての活動なため、広島市近郊で受注可能物件があった場合に比例して、廃棄物搬出量が多くなっている。
②計画	（今後実施する予定の取組） ・工法変更による発生量削減の可能性の検討や施工方法や実施範囲等の検討を施工計画立案時や 施工期間中に於いて随時を行う。 ・産業廃棄物の分別収集を推進し、リサイクル率の向上に努める。 ・広島市近郊の工事の受注が継続中であるため、前年度よりは搬出量は低減できると思われる。

4 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・ISO14001のマネジメントシステム活動の実施展開により適切に分類し搬出を行っている。
②計画	（今後、分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・同上の取り組みを今後もより一層の継続と推進を行う。 ・混合廃棄物の分別処理を優先する。 ・主に、東広島を中心としての活動なため、広島市近郊で受注可能物件があった場合に比例して、廃棄物搬出量が多くなっていく可能性は十分にあり得ると思われる。

5 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	（これまでに実施した取組） ・該当事項なし。
②計画	（今後実施する予定の取組） ・該当事項なし。

6 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	（これまでに実施した取組）
②計画	（今後実施する予定の取組）

7 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	（これまでに実施した取組） ・該当事項なし。
②計画	（今後実施する予定の取組） ・該当事項なし。

8 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	（これまでに実施した取組） ・長年の付き合いによる信頼できる業者に委託している。 （優良認定処理業者への処理委託あり） ・一般社団法人広島県資源循環協会に登録されている産業廃棄物処理業者より選定し、処分を委託している。
②計画	（今後実施する予定の取組） ・同上の取り組みを今後もより一層の継続と推進を行う。 ・委託予定業者へ事前に現地確認を行う。 ・一般社団法人広島県資源循環協会に登録されている産業廃棄物処理業者より選定し、処分を委託する。